

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 サカタインクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4633 URL <https://www.inx.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 上野 吉昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菅原 大輔 TEL 06-6447-5823
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト等向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	110,151	6.4	5,045	148.7	6,427	156.7	3,812	58.8
2022年12月期第2四半期	103,533	16.8	2,028	△59.8	2,503	△57.2	2,400	△40.6

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 12,081百万円 (△1.9%) 2022年12月期第2四半期 12,313百万円 (45.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	76.20	—
2022年12月期第2四半期	42.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	192,218	104,169	50.3
2022年12月期	177,403	92,952	48.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 96,682百万円 2022年12月期 86,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年12月期	—	15.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	226,000	4.9	10,000	142.4	12,100	143.9	7,900	73.4	157.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	54,172,361株	2022年12月期	54,172,361株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	4,127,468株	2022年12月期	4,143,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	50,035,674株	2022年12月期2Q	56,037,577株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12

※ 当社は、以下の通り投資家向け説明会を開催する予定です。また、この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

・2023年8月31日(木)・・・機関投資家・証券アナリスト等向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の落ち込みから持ち直しの動きが続き、原油をはじめとする資源価格も安定するなど世界的なインフレにも鈍化の動きが見られる一方、ウクライナ問題の長期化や金融引き締め継続により、欧米において景気後退への懸念が続く状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは2030年を見据えた長期ビジョン『SAKATA INX VISION 2030』を実現させるため、基盤構築フェーズである『中期経営計画2023 (CCC-I)』の最終年度として、環境配慮型製品を中心としたパッケージ用インキと機能性材料の拡販とともに、新規事業の確立に向けた基盤作りを進めました。また、印刷インキの主要原材料につきましては、海外においては前年同期に比べ、価格面で安定した状況にあるものの、国内では依然として高い状態が続いております。このため、製品の安定供給を最優先として、グループ会社間の連携強化やグローバル調達などによるサプライチェーンの安定化に取り組むとともに販売価格の改定に取り組みました。機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、カラーフィルター用顔料分散液、トナーなどの従来製品の拡販に加え、社会トレンドを捉えた高付加価値製品の開発に取り組みしました。

売上高は、欧米において市況の悪化による需要減の影響を受けたものの、販売価格の改定が進んだことや機能性材料の拡販が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、1,101億5千1百万円（前年同期比6.4%増加）となりました。

利益面では、日本においては原材料や副資材の価格が高止まりしているほか、電気・ガス代といったユーティリティコストなども上昇しているものの、海外においてはこれらの価格が落ち着いてきたなかで、販売価格の改定効果やインキコストの削減により収益性の改善が続いたことなどから、営業利益は50億4千5百万円（前年同期比148.7%増加）となりました。経常利益は64億2千7百万円（前年同期比156.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、38億1千2百万円（前年同期比58.8%増加）となりました。

(参考) USドルの期中平均為替レート

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結累計期間
2023年12月期	132.34円	137.37円	134.85円
2022年12月期	116.20円	129.57円	122.89円

(注) 第2四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1月～6月の単純平均レートを記載しております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益又は営業損失(△)			
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額	増減率
印刷インキ・機材(日本)	24,918	25,731	812	3.3%	3.3%	164	122	△42	△25.6%
印刷インキ(アジア)	22,241	24,113	1,872	8.4%	3.1%	502	1,589	1,087	216.2%
印刷インキ(米州)	35,490	38,152	2,662	7.5%	△2.0%	659	2,321	1,661	252.0%
印刷インキ(欧州)	9,372	9,537	164	1.8%	△5.6%	△347	△383	△35	—
機能性材料	7,768	8,170	402	5.2%	1.1%	847	976	128	15.2%
報告セグメント計	99,791	105,705	5,913	5.9%	0.3%	1,827	4,626	2,799	153.2%
その他	7,198	7,419	221	3.1%	3.1%	187	238	51	27.2%
調整額	△3,456	△2,973	483	—	—	13	180	166	—
合計	103,533	110,151	6,618	6.4%	1.0%	2,028	5,045	3,016	148.7%

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

印刷インキ・機材（日本）

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行など社会経済活動の制限緩和が続いたこともあり、各地で人出の増加や大型イベントの開催などにより経済活動が活発化し、また水際対策の緩和による外国人観光客の増加が続きました。一方で、日用品、食品、飲料など多くのアイテムで値上げの影響による買い控えの動きが広がった影響が大きく、パッケージ関連では、グラビアインキ、フレキソインキともに全体としてやや低調に推移しました。印刷情報関連では、デジタル化の影響など市場の構造的な縮小や、広告需要の低迷が続いていることなどから、新聞インキ、オフセットインキともに低調に推移しました。このような状況ではあるものの、販売価格の改定効果もあり、印刷インキ全体では前年同期を上回りました。機材につきましては、印刷製版用材料、機械販売ともに前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は257億3千1百万円（前年同期比3.3%増加）となりました。

利益面では、販売価格の改定を進めてはいるものの、原材料価格が高止まりしているなか、電気・ガス代といったユーティリティコストの上昇や、印刷情報関連の印刷インキの販売が低調に推移したことなどから、営業利益は1億2千2百万円（前年同期比25.6%減少）となりました。

印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、インドネシアで販売が好調であったほか、本格稼働したバングラデシュでも順調に拡販が続くなど全般的に堅調に推移しました。印刷情報関連では、インドで好調な販売が続いたことに加え、中国でも当第2四半期は回復傾向となりました。売上高は、販売数量が増加したことや販売価格の改定が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから241億1千3百万円（前年同期比8.4%増加）となりました。

利益面では、全般的に経費が増加したものの、販売価格の改定効果が寄与したことに加え、原材料価格も前年同期を下回る水準で推移していることなどにより、営業利益は15億8千9百万円（前年同期比216.2%増加）となりました。

印刷インキ（米州）

金融引き締めによる市況の悪化が続いており販売数量に関しては全般に低調に推移しました。主力のパッケージ関連では、需要の低迷により顧客での在庫調整が続いたことなどから、フレキソインキ及びグラビアインキとも販売は落ち込みました。メタルインキは環境負荷の観点からアルミ缶に対する需要が高まっているという背景はあるものの、販売は伸び悩みました。印刷情報関連であるオフセットインキは、市場の構造的な縮小もあり低調に推移しました。売上高は、販売数量は伸び悩んだものの、販売価格の改定が大きく進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、381億5千2百万円（前年同期比7.5%増加）となりました。

利益面では、人件費は増加したものの、販売価格の改定効果が寄与したことや、原材料価格も前年同期を下回る水準で推移するなかでインキコストの削減を推し進めたことなどにより、営業利益は23億2千1百万円（前年同期比252.0%増加）となりました。

印刷インキ（欧州）

パッケージ関連を中心として拡販に取り組んだものの、顧客での需要が低迷していることもあり販売数量に関しては伸び悩みました。売上高は、販売価格の改定が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、95億3千7百万円（前年同期比1.8%増加）となりました。

利益面では、販売価格の改定効果が寄与したものの、販売数量が伸び悩んだことや、人件費などの経費が増加した影響もあり3億8千3百万円の営業損失（前年同期は3億4千7百万円の営業損失）となりました。

機能性材料

インクジェットインキは全体としては堅調に推移し前年同期並みとなりました。カラーフィルター用顔料分散液はパネルディスプレイの市況が改善傾向にあることもあり、前年同期を上回りました。トナーは、一部で在庫調整の動きも見られるものの全体として販売が堅調に推移したことなどから前年同期並みとなりました。これらの結果に加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、売上高は81億7千万円（前年同期比5.2%増加）となりました。

利益面では、デジタル印刷材料の販売が増加したことなどにより、営業利益は9億7千6百万円（前年同期比15.2%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産は減少したものの、売上高の増加に伴い売上債権が増加したことや、株価の上昇に伴う時価評価や持分法により投資有価証券が増加したこと、基幹システムの更新に関連して無形固定資産が増加したことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比148億1千4百万円(8.4%)増加の1,922億1千8百万円となりました。

負債は、仕入債務が減少したものの、設備投資を目的とした借入金が増加したことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比35億9千8百万円(4.3%)増加の880億4千9百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加に加え、その他の包括利益累計額が増加したことなどから、前連結会計年度末比112億1千6百万円(12.1%)増加の1,041億6千9百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加、仕入債務の減少、及び法人税等の支払などがあったものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費などにより、37億4千8百万円の資金の増加となりました。前年同四半期連結累計期間に比べ68億9千6百万円の増加となりましたが、主な要因は、運転資本が減少したことや税金等調整前四半期純利益が増加したことです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や無形固定資産の取得による支出などがあったことにより、40億2千6百万円の資金の減少となりました。前年同四半期連結累計期間に比べ55億8千1百万円の減少となりましたが、主な要因は、投資有価証券の売却による収入が減少したことです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などがあったものの、借入金の増加などにより、11億5千5百万円の資金の増加となりました。前年同四半期連結累計期間に比べ17億5千6百万円の増加となりましたが、主な要因は、借入による収入が減少したものの、自己株式の取得による支出が減少したことです。

以上に加え、連結の範囲の変更を伴う現金及び現金同等物の増減額として1千2百万円を計上した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は138億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ20億9千8百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、2023年2月14日に公表しました当初予想を修正いたしました。

売上高は、市況の悪化による需要減の影響が続くことが見込まれるものの、販売価格の改定に加え、為替換算の影響が見込まれることなどから当初予想を上回る見込みであります。利益につきましては、海外において主要原材料の価格推移が想定を下回るなか、販売価格の改定効果やインキコストの削減により収益性の改善が続くと見込まれ、営業利益は当初予想を大幅に上回る見込みであります。また、経常利益以下におきましても、上期における為替差益の発生に加え、持分法投資損益の改善が続くと想定により、当初予想を大幅に上回る見込みであります。

なお、前提条件として、海外連結子会社の収益・費用の為替換算にあたって影響を受け易いUSドルにつきましては、第3四半期以降は1ドル当たり135.00円、通期で135.00円（年間単純平均）としております。

また、当社は、株主の皆様に対する利益配当金を含めた利益還元を経営の重要施策として位置付けており、財務体質と経営基盤の強化、並びに長期的な展望に立った投資への資金需要に備えるための内部留保を行いつつ、安定的に配当を行うことにより利益還元を図ることを基本方針としております。

2023年12月期の期末配当予想につきましては、上記の方針と通期の業績予想を踏まえ、利益配当金により株主の皆様へ一層の利益還元を図ることを目的として、1株当たり1円増配し16円に修正いたします。

これにより、年間配当金は中間配当金と合わせて1株当たり31円となる予定であります。

2023年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2023年2月14日）	百万円 222,000	百万円 6,000	百万円 6,800	百万円 4,700	円 銭 93.93
今回修正予想（B）	226,000	10,000	12,100	7,900	157.87
増減額（B－A）	4,000	4,000	5,300	3,200	
増減率（％）	1.8	66.7	77.9	68.1	
（ご参考）前期実績 （2022年12月期）	215,531	4,125	4,961	4,555	85.52

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,120	14,423
受取手形及び売掛金	53,862	57,891
商品及び製品	13,164	17,233
仕掛品	1,514	1,601
原材料及び貯蔵品	18,669	14,804
その他	2,394	3,116
貸倒引当金	△575	△630
流動資産合計	101,150	108,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,858	20,307
機械装置及び運搬具(純額)	10,391	10,774
土地	9,816	10,045
リース資産(純額)	231	251
建設仮勘定	3,814	4,329
その他(純額)	4,273	4,557
有形固定資産合計	48,385	50,266
無形固定資産		
のれん	441	459
その他	1,901	3,506
無形固定資産合計	2,342	3,965
投資その他の資産		
投資有価証券	23,942	27,703
その他	2,592	2,905
貸倒引当金	△1,010	△1,064
投資その他の資産合計	25,524	29,545
固定資産合計	76,252	83,778
資産合計	177,403	192,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,121	23,674
電子記録債務	14,316	12,393
短期借入金	11,046	11,493
1年内返済予定の長期借入金	1,979	3,611
未払費用	4,656	4,843
未払法人税等	524	538
賞与引当金	547	506
その他	2,951	3,162
流動負債合計	59,143	60,223
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	11,244	12,527
退職給付に係る負債	4,869	4,956
資産除去債務	74	75
その他	8,119	9,266
固定負債合計	25,307	27,826
負債合計	84,450	88,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,673
利益剰余金	71,729	74,836
自己株式	△4,015	△3,999
株主資本合計	80,859	83,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111	1,842
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	5,010	11,494
退職給付に係る調整累計額	△709	△638
その他の包括利益累計額合計	5,412	12,699
非支配株主持分	6,680	7,486
純資産合計	92,952	104,169
負債純資産合計	177,403	192,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	103,533	110,151
売上原価	84,454	86,757
売上総利益	19,078	23,394
販売費及び一般管理費	17,050	18,348
営業利益	2,028	5,045
営業外収益		
受取利息	25	70
受取配当金	172	72
持分法による投資利益	331	866
為替差益	—	535
その他	225	308
営業外収益合計	755	1,854
営業外費用		
支払利息	187	395
為替差損	62	—
その他	30	77
営業外費用合計	280	472
経常利益	2,503	6,427
特別利益		
投資有価証券売却益	1,442	—
特別利益合計	1,442	—
特別損失		
関係会社株式評価損	—	280
特別損失合計	—	280
税金等調整前四半期純利益	3,945	6,147
法人税、住民税及び事業税	1,183	1,592
法人税等調整額	247	296
法人税等合計	1,431	1,888
四半期純利益	2,514	4,258
非支配株主に帰属する四半期純利益	113	445
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,400	3,812

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,514	4,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△919	748
繰延ヘッジ損益	3	1
為替換算調整勘定	8,082	5,425
退職給付に係る調整額	57	75
持分法適用会社に対する持分相当額	2,575	1,572
その他の包括利益合計	9,799	7,823
四半期包括利益	12,313	12,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,241	11,100
非支配株主に係る四半期包括利益	1,072	981

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,945	6,147
減価償却費	2,334	2,367
のれん償却額	51	56
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	37
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△55	71
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△46
関係会社株式評価損	—	280
受取利息及び受取配当金	△198	△143
支払利息	187	395
持分法による投資損益 (△は益)	△331	△866
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,442	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△813	△1,272
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,585	1,938
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,381	△2,875
その他	△34	△1,022
小計	△2,335	5,068
利息及び配当金の受取額	371	325
利息の支払額	△191	△403
法人税等の支払額	△992	△1,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,147	3,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,407	△1,694
有形固定資産の売却による収入	8	46
無形固定資産の取得による支出	△1,052	△1,616
投資有価証券の取得による支出	△15	△611
投資有価証券の売却による収入	4,628	—
貸付けによる支出	△16	△30
貸付金の回収による収入	29	35
その他	381	△155
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,555	△4,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,051	△246
長期借入れによる収入	1,581	3,646
長期借入金の返済による支出	△2,553	△1,193
非支配株主からの払込みによる収入	146	—
配当金の支払額	△876	△750
非支配株主への配当金の支払額	△642	△175
自己株式の取得による支出	△8,192	△0
その他	△114	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△600	1,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	603	1,209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,589	2,086
現金及び現金同等物の期首残高	12,115	11,721
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	12
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,525	13,820

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に関する仮定についての重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (米州)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	24,914	22,146	35,016	8,898	7,715	98,690	4,842	103,533	—	103,533
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	24,914	22,146	35,016	8,898	7,715	98,690	4,842	103,533	—	103,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	94	473	474	53	1,100	2,355	3,456	△3,456	—
計	24,918	22,241	35,490	9,372	7,768	99,791	7,198	106,990	△3,456	103,533
セグメント利益又は 損失(△)	164	502	659	△347	847	1,827	187	2,014	13	2,028

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額13百万円には、セグメント間取引消去405百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△391百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (米州)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	25,728	24,020	37,811	9,193	8,146	104,900	5,251	110,151	—	110,151
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	25,728	24,020	37,811	9,193	8,146	104,900	5,251	110,151	—	110,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	92	341	343	24	805	2,167	2,973	△2,973	—
計	25,731	24,113	38,152	9,537	8,170	105,705	7,419	113,125	△2,973	110,151
セグメント利益又は 損失(△)	122	1,589	2,321	△383	976	4,626	238	4,865	180	5,045

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成成品事業及びディスプレイサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額180百万円には、セグメント間取引消去576百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△396百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。